

IBM Watson

農地関連情報システムでの
データに基づく
AI活用可能性シーンのご紹介

2019年12月18日
日本アイ・ビー・エム株式会社

IBM



“DXとは何か？”

データに隠された洞察をビジネス価値につなげる
(その洞察獲得にAIを活用し、
そのAI活用には、「データ」、「人材」、「信頼」が必要)

“AIとは何か？”

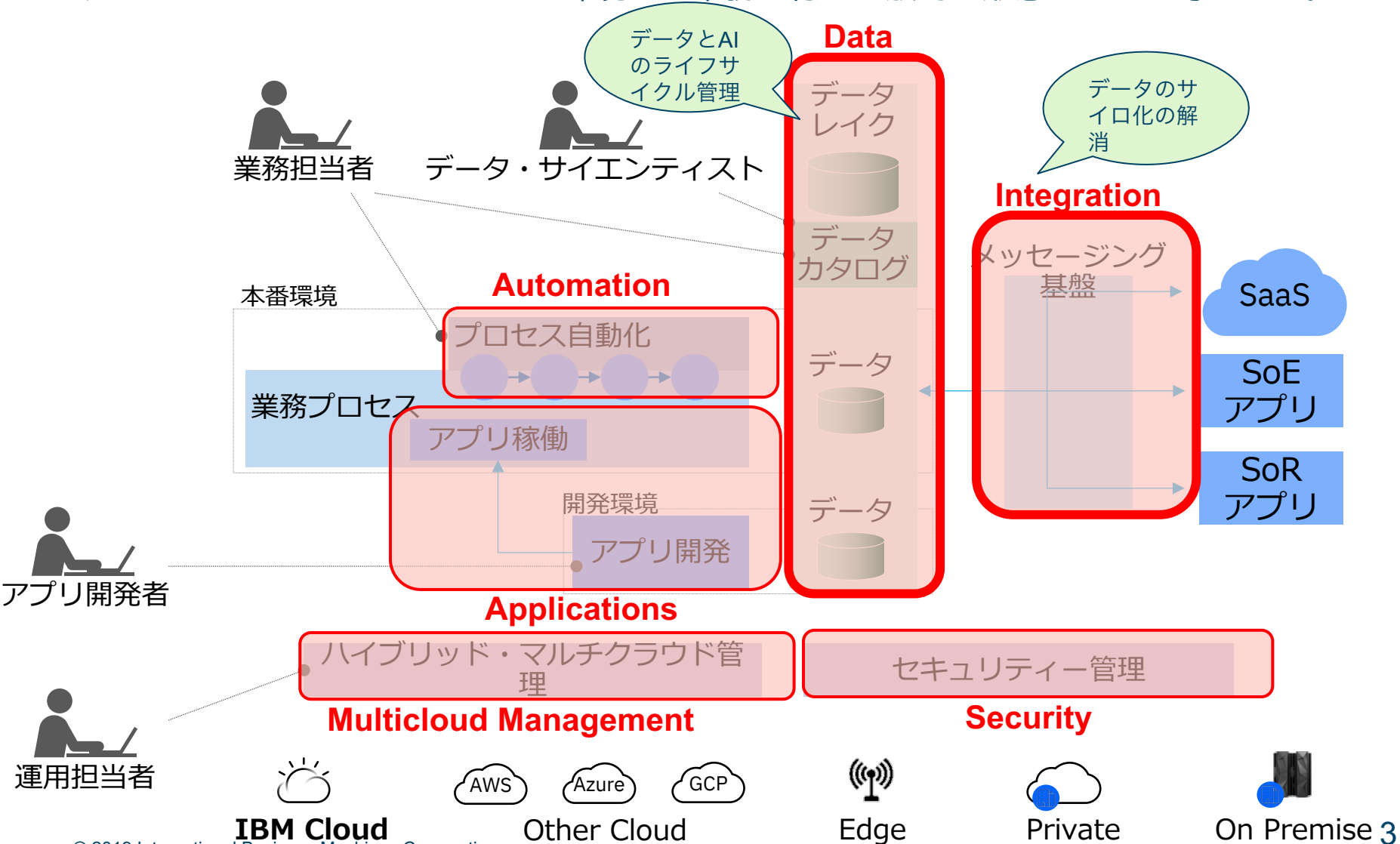
Predictions(予測) 自社のビジネスに何が起こるか予測する
Automation(自動化) 予測、分析、洞察のプロセスを自動化し、
従業員を付加価値の高い業務に専念させる
Optimization(最適化) 組織や個人が消費している時間を最適化させる

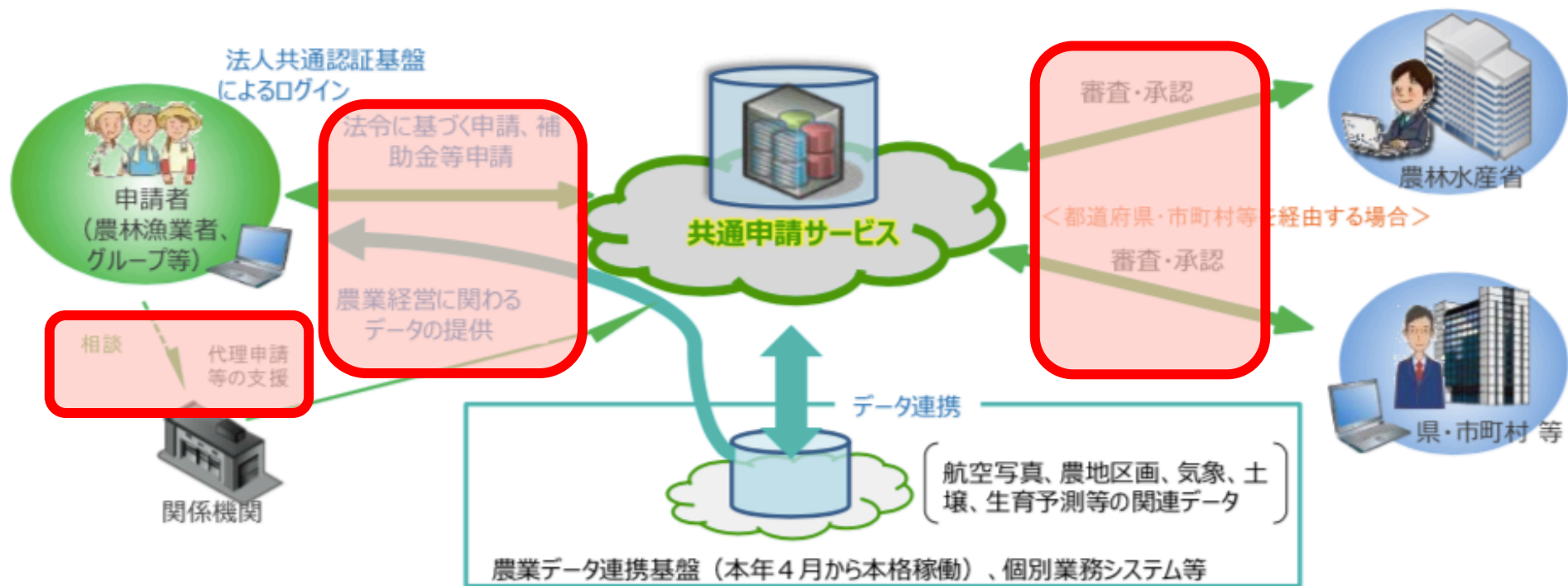
“IBM Watsonとは何か？”

データに意味づけを行い、自然言語を理解し、説明性を確保して、
リコメンデーション、予測、自動化を実現するソフトウェア

DX実現に向けたありたいシステム構成

多様な分析ニーズに対応し、データをつなぐ・整える・分析・活用する基盤が欠かせなく、ハイブリッド・マルチクラウド環境での業務遂行が一般的な形態となると考えます。





出典：農林水産省さま
「デジタル地図」を活用した農地情報の管理に関する検討会 第1回資料

1.各団体・各機関ごとの申請・審査・処理

紙ベースの手続き / 複数の様式 / 二重・三重入力 / 現地確認作業
/ 照会・突合処理 / 紙ベースの審査 / ヒューマンエラー
等々

2.農地の集約・集積化








事務量増加
等々

3.高齢化・人口減・職員減

申請支援 / 現地確認作業支援 / 審査支援 / 技能継承支援
/ システム機能追加・運用支援
等々

4.農業の発展

経験・勘のデータ化 / EBPMの取り入れ / 消費者ニーズのリアルタイム把握
/ 関連データ連携
等々

<p>照会応答系</p>	<p>  Watson Assistant 申請支援chatbot / 審査支援chatbot / コールセンターオペレーター支援chatbot </p>
<p>知識探索系</p>	<p>  Discovery ニーズトレンドの発見 / 横断検索支援  Natural Language Understanding </p> <p>  Discovery News 農業関連ニュースの収集  Knowledge Studio </p>
<p>画像系</p>	<p>  Visual Recognition ポリゴン整合性照査支援 / 損害評価支援 </p>
<p>音声系</p>	<p>  Speech to Text コールセンターオペレーター支援  Text to Speech 管内放送支援 /議事録作成支援 </p>
<p>言語系</p>	<p>  Language Translator 海外事例翻訳支援  Natural Language Classifier コールセンターオペレーター支援 </p>
<p>心理系</p>	<p>  Personality Insights  Tone Analyzer(日本語未対応) </p>

注：実プロジェクトでは複数機能の組み合わせがほとんどになります。